

平成 26 年 2 月 19 日

【照会先】

大臣官房統計情報部

人口動態・保健社会統計課 世帯統計室

縦断調査管理官 越路 幹男

室長補佐 相原 陽二

(担 当) 中高年者縦断統計係(内線 7594)

(代表電話) 03-5253-1111

(直通電話) 03-3595-2323

第 8 回中高年者縦断調査（中高年者の生活に関する継続調査）の概況

目 次

調査の概要	1 頁
結果の概要	3
1 世帯の状況	3
(1) 世帯構成	3
(2) 介護をしている状況と就業状況の変化	4
2 就業の状況	5
(1) 就業状況の変化	5
(2) 離職の状況	6
3 60歳以降の仕事の希望と実態	7
(1) 60～64歳の仕事	7
(2) 65歳以降の仕事	8
(3) 仕事のための免許・資格取得の有無	9
参 考	10
用語の定義	11

第 8 回中高年者縦断調査の結果は、厚生労働省のホームページにも掲載されています。

アドレス (http://www.mhlw.go.jp/toukei_hakusho/toukei/)

調 査 の 概 要

1 調査の目的

この調査は、団塊の世代を含む全国の中高齢者世代の男女を追跡して、その健康・就業・社会活動について、意識面・事実面の変化の過程を継続的に調査し、行動の変化や事象間の関連性等を把握し、高齢者対策等厚生労働行政施策の企画立案、実施等のための基礎資料を得ることを目的として、平成 17 年度を初年として実施しているものである。

2 調査の対象及び客体

平成 17 年 10 月末現在で 50～59 歳である全国の男女を対象とし、そのうち、第 6 回調査又は第 7 回調査において協力を得られた者を客体とした。

第 8 回調査における対象者の年齢は、57～66 歳である。

3 調査の期日

調査の周期 毎年 1 回（11 月の第一水曜日）

調査の期日 第 8 回調査 平成 24 年 11 月 7 日（水）

4 調査の事項

家族の状況、健康の状況、就業の状況、住居・家計の状況 等

5 調査の方法

厚生労働省から郵送された調査票に被調査者が自ら記入し、郵送により厚生労働省に提出する方法により行った。

6 調査の系統

厚生労働省 ——— 被調査者
郵送

7 結果の集計及び集計客体

(1) 結果の集計

集計は、厚生労働省大臣官房統計情報部で行った。

(2) 調査客体数等

調査客体数、回収客体数は以下のとおりである。

	対象者の年齢	調査客体数	回収客体数	回収率
第1回調査	50～59歳	40,877	34,240	83.8%
第2回調査	51～60歳	35,007	32,285	92.2%
第3回調査	52～61歳	32,195	30,730	95.4%
第4回調査	53～62歳	30,773	29,605	96.2%
第5回調査	54～63歳	29,548	28,736	97.3%
第6回調査	55～64歳	28,554	26,220	91.8%
第7回調査	56～65歳	28,137	25,321	90.0%
第8回調査	57～66歳	26,428	24,026	90.9%

(3) 集計客体数

本概況では、第1回調査から第8回調査まで集計可能である22,288人を集計客体とした。

8 利用上の注意

(1) 表章記号の規約

計数のない場合	—
---------	---

(2) この概況に掲載の数値は四捨五入してあるので、内訳の合計が「総数」に合わない場合がある。

結果の概要

1 世帯の状況

(1) 世帯構成

この7年間で、「夫婦のみの世帯」は増加、「三世帯世帯」、「親なし子ありの世帯」は減少

第1回調査から第8回調査までの世帯構成をみると、「夫婦のみの世帯」は、第1回 21.2%から第8回 34.6%と増加している。一方、「三世帯世帯」は、第1回 22.4%から第8回 16.0%、「親なし子ありの世帯」は、第1回 39.0%から第8回 29.7%と減少している。(図1)

世帯構成の変化について、第1回調査から「夫婦のみの世帯」に変化した割合をみると、「親なし子ありの世帯」で 30.5%、「親あり子なしの世帯」で 22.4%と高くなっている(表1)。

図1 第1回調査から第8回調査までの世帯構成の変化

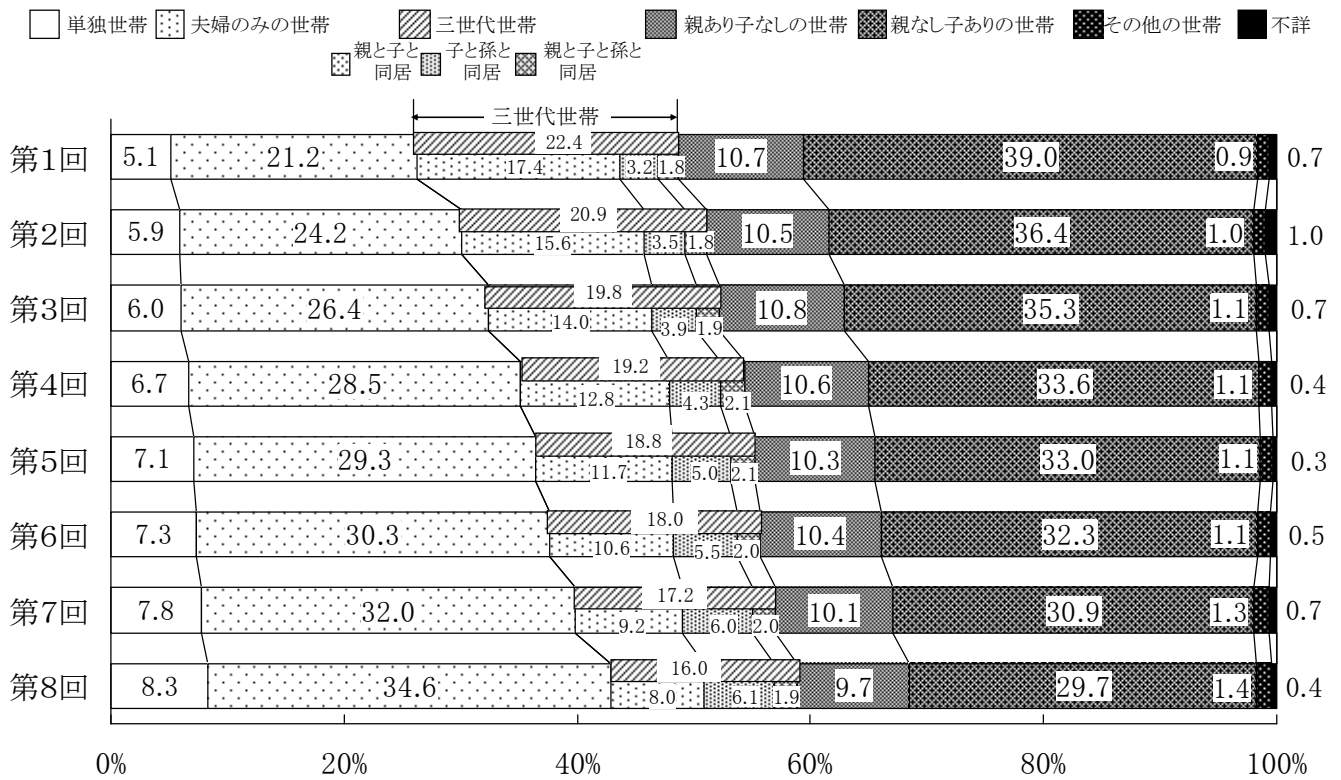


表1 世帯構成の変化

(単位: %)

	第8回の世帯構成							
	総数	単独世帯	夫婦のみの世帯	三世帯世帯	親あり子なしの世帯	親なし子ありの世帯	その他の世帯	
第1回調査の世帯構成	(100.0)	100.0	8.3	34.6	16.0	9.7	29.7	1.4
単独世帯	(5.1)	100.0	76.1	7.4	3.0	4.0	8.0	1.3
夫婦のみの世帯	(21.2)	100.0	4.3	77.6	5.2	2.4	9.0	0.7
三世帯世帯	(22.4)	100.0	1.9	13.6	49.0	14.8	20.1	0.5
親あり子なしの世帯	(10.7)	100.0	11.2	22.4	11.3	47.8	3.9	3.1
親なし子ありの世帯	(39.0)	100.0	3.9	30.5	6.4	1.2	57.2	0.6
その他の世帯	(0.9)	100.0	15.2	14.6	3.5	3.0	7.6	55.6

注: 総数には第1回及び第8回の世帯構成の不詳を含む。

(2) 介護をしている状況と就業状況の変化

介護をしている状況の変化別に第1回調査以降に「退職」した者の割合をみると、「介護を「していない」から「している」に変化」した者で高い

第8回調査で介護をしていると答えた者の割合は12.9%であり、ここ数年の傾向に変化はない。また、第1回から第8回までに介護をした経験がある者(1回でも「介護をしている」と答えた者。以下同様)は、3割を超えている。(図2、図3)

第1回調査からの就業状況の変化を、第1回からの介護をしている状況の変化別にみると、「退職」(第1回に仕事をしていて、第8回までに仕事をしていない状態に変化)した割合は、「介護を「していない」から「している」に変化」した者が23.0%と高くなっている(表2)。

図2 各調査回における介護の有無

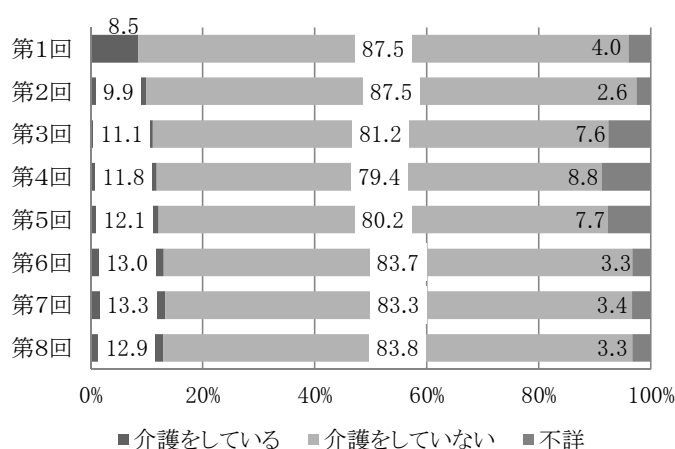


図3 第1回調査からの介護経験の有無

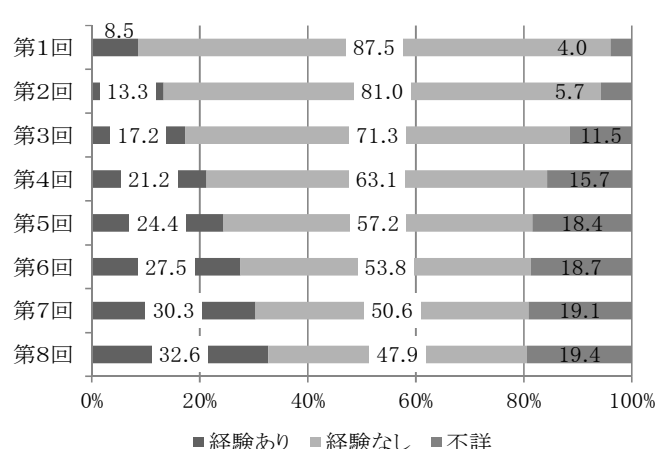


表2 第1回調査からの介護をしている状況の変化別にみた第1回調査からの就業状況の変化

(単位: %)

		第1回からの就業状況の変化						
		総数	第1回から仕事あり	就業	退職 ※	第1回から仕事なし	その他	
第1回介護をからしている状況の変化	総数	(100.0)	100.0	52.1	2.0	18.0	12.8	14.5
	第1回から介護をしている	(1.1)	100.0	33.7	2.0	18.7	28.9	16.3
	介護を「していない」から「している」に変化	(5.8)	100.0	46.4	1.8	23.0	13.3	15.1
	介護を「している」から「していない」に変化	(3.3)	100.0	43.5	4.3	14.7	22.6	14.7
	第1回から介護をしていない	(47.9)	100.0	56.2	1.8	17.2	11.5	13.0
	その他	(19.4)	100.0	48.9	1.9	19.4	13.6	15.6

注: 総数には第1回からの介護をしている状況の変化及び第1回からの就業状況の変化の不詳を含む。

※ 退職の理由には、「家族の介護・看護のため」の他に、「定年のため」、「健康がすぐれなかったから」、「契約期間が満了したから」などがある。

2 就業の状況

(1) 就業状況の変化

「60～64歳」の者が第1回調査から仕事をしている割合は、男 65.3%、女 39.1%

第1回調査からの就業状況の変化をみると、「第1回から仕事あり」は、男 65.8%、女 40.3%となっている。また、「第1回から仕事あり」を年齢階級別にみると、「57～59歳」では、男 83.1%、女 52.5%、「60～64歳」では、男 65.3%、女 39.1%、「65,66歳」では、男 46.6%、女 28.0%となっており、いずれの年齢階級でも男の方が「第1回から仕事あり」の割合が高くなっている。(表3)

表3 性、年齢階級別にみた第1回調査からの就業状況の変化

(単位: %)

	第1回からの就業状況の変化										
	総数		第1回 から 仕事あり	(再掲)		就業	退職	第1回 から 仕事なし	(再掲)		その他
				離職なし	離職あり				離職なし	離職あり	
総数	(100.0)	100.0	52.1	37.1	12.3	2.0	18.0	12.8	10.8	14.5	
57～59歳	(24.5)	100.0	66.6	53.1	10.9	2.3	8.8	8.7	7.3	13.3	
60～64歳	(55.4)	100.0	51.3	34.9	13.6	2.1	19.1	12.8	10.8	14.3	
65,66歳	(20.1)	100.0	36.9	23.7	10.6	1.6	25.9	17.9	15.0	16.9	
男	(100.0)	100.0	65.8	45.5	16.7	1.2	17.3	2.8	2.2	12.7	
57～59歳	(24.2)	100.0	83.1	68.2	11.7	1.1	5.0	1.5	1.2	9.2	
60～64歳	(55.2)	100.0	65.3	42.0	19.5	1.2	18.3	2.5	1.9	12.5	
65,66歳	(20.6)	100.0	46.6	28.3	15.0	1.1	29.3	5.2	4.4	17.3	
女	(100.0)	100.0	40.3	29.8	8.5	2.8	18.5	21.5	18.2	16.1	
57～59歳	(24.8)	100.0	52.5	40.3	10.1	3.4	12.0	14.8	12.5	16.7	
60～64歳	(55.5)	100.0	39.1	28.8	8.5	2.8	19.9	21.6	18.4	15.8	
65,66歳	(19.7)	100.0	28.0	19.6	6.5	2.0	22.8	29.5	24.6	16.4	

注: 総数には第1回からの就業状況の変化の不詳を含む。

(2) 離職の状況

定年で離職した者のうち、第8回調査で「仕事をしている」者の仕事のかたちは、男では「契約社員・嘱託」39.5%、女では「パート・アルバイト」55.8%

第1回調査以降に「仕事をやめた経験がある」者について、離職理由(複数の離職経験者は最後の離職の理由。以下同様)をみると、男では「定年のため」33.7%、「契約期間が満了したから」12.9%、「健康がすぐれなかったから」8.4%、女では「定年のため」14.0%、「健康がすぐれなかったから」13.3%、「契約期間が満了したから」9.7%となっている。離職理由別に第8回で「仕事をしていない」者の割合をみると、「健康がすぐれなかったから」では、男 67.9%、女 69.9%と男女の差は小さいが、「解雇されたから」では、男 30.9%、女 51.4%、「定年のため」では、男 43.0%、女 62.4%と男女の差が大きくなっている。(表4)

定年を理由に離職し第8回調査で「仕事をしている」者の仕事のかたちをみると、男では「契約社員・嘱託」39.5%、「パート・アルバイト」22.4%、「正規の職員・従業員」16.7%、女では「パート・アルバイト」55.8%、「契約社員・嘱託」18.5%と高くなっている(表5)。

表4 最後にやめた仕事の離職理由(複数回答)別にみた性、第8回調査の仕事の有無

(単位:%)

	第8回の仕事の有無												
	総数(1)				男			女					
	総数(2)	仕事をしている	仕事を していない		総数(2)	仕事をしている	仕事を していない	総数(2)	仕事をしている	仕事を していない			
最後にやめた仕事の離職理由(複数回答)	総数(3)	(100.0)	100.0	46.9	52.5	(100.0)	100.0	55.0	44.6	(100.0)	100.0	39.3	59.8
定年のため	(23.5)	100.0	50.6	49.0	(33.7)	100.0	56.9	43.0	(14.0)	100.0	36.5	62.4	
契約期間が満了したから	(11.2)	100.0	44.9	54.8	(12.9)	100.0	47.3	52.6	(9.7)	100.0	41.9	57.7	
希望退職に応じたから	(4.2)	100.0	52.1	47.6	(4.8)	100.0	64.2	35.8	(3.7)	100.0	37.4	62.1	
倒産したから	(3.0)	100.0	60.7	38.7	(2.7)	100.0	70.0	30.0	(3.3)	100.0	53.5	45.3	
解雇されたから	(6.3)	100.0	59.0	40.4	(7.0)	100.0	68.8	30.9	(5.7)	100.0	47.6	51.4	
新しい仕事が見つかったから	(3.4)	100.0	96.2	3.5	(3.5)	100.0	95.9	3.6	(3.3)	100.0	96.5	3.5	
健康がすぐれなかったから	(10.9)	100.0	29.6	69.2	(8.4)	100.0	31.1	67.9	(13.3)	100.0	28.8	69.9	
家族の介護・看護のため	(5.2)	100.0	30.9	68.1	(2.6)	100.0	30.7	68.5	(7.7)	100.0	31.0	68.0	
子・孫の育児のため	(1.9)	100.0	28.9	70.0	(0.2)	100.0	25.0	75.0	(3.5)	100.0	29.1	69.8	
人間関係がうまくいかなかったから	(4.3)	100.0	54.5	44.8	(3.3)	100.0	58.1	41.3	(5.2)	100.0	52.4	46.9	
労働条件が不満になったから	(4.6)	100.0	61.3	38.5	(4.0)	100.0	61.1	38.3	(5.1)	100.0	61.4	38.6	
年金を受給し始めたから	(3.3)	100.0	35.6	62.8	(4.1)	100.0	41.6	57.4	(2.6)	100.0	26.9	70.9	
その他	(11.9)	100.0	48.5	51.1	(9.6)	100.0	59.3	40.7	(14.1)	100.0	41.6	57.7	

- 注: 1) 「最後にやめた仕事の離職理由」とは第1回以降に仕事をやめたときの離職理由であり、複数回離職している場合は直近の状況を集計している。
 2) 最後にやめた仕事の離職理由「子・孫の育児のため」「人間関係がうまくいかなかったから」「労働条件が不満になったから」「年金を受給し始めたから」は、第4回から追加した選択肢である。
 3) 総数(1)は、男女の合計である。
 4) 総数(2)は第8回の仕事の有無の合計であり、仕事の有無の不詳を含む。
 5) 総数(3)は何らかの離職理由を回答した者と離職理由が不詳の者の合計である。
 6) ()内の数値は、第1回以降に「仕事をやめた経験がある」者を100として、それぞれの離職理由(複数回離職している場合は直近の離職の理由)を回答した者の割合である。

表5 最後にやめた仕事の離職理由が「定年のため」であり第8回調査で仕事をしている者の性別にみた仕事のかたち

(単位:%)

	第8回の仕事のかたち										
	総数	自営業主	家族 従業者	会社・ 団体等の 役員	正規の 職員・ 従業員	パート・ アルバイト	労働者派遣 事業所の 派遣社員	契約社員・ 嘱託	家庭での 内職など	その他	
定年のため											
総数	(100.0)	100.0	9.2	1.7	3.4	14.8	29.9	1.1	34.8	0.5	4.5
男	(77.8)	100.0	11.0	0.6	4.0	16.7	22.4	1.3	39.5	0.2	4.2
女	(22.2)	100.0	3.0	5.3	1.5	8.3	55.8	0.4	18.5	1.5	5.7

- 注: 1) 「最後にやめた仕事の離職理由」とは第1回以降に仕事をやめたときの離職理由であり、複数回離職している場合は直近の状況を集計している。
 2) 総数には第8回の仕事のかたちの不詳を含む。

3 60歳以降の仕事の希望と実態

(1)60～64歳の仕事

第1回調査時に「60～64歳は仕事をしたい」と希望していた者のうち、第8回調査時に「仕事をしている」者は、男 81.2%、女 66.3%

第1回調査時(7年前)の60～64歳の就業希望と、第8回調査時に60～64歳となった者の仕事の有無をみると、「60～64歳は仕事をしたい」と希望していた者のうち、第8回で「仕事をしている」の者の割合は、男 81.2%、女 66.3%となっている。

第1回調査時に希望していた仕事のかたちとして最も多かったのは、男では「雇われて働く(フルタイム)」が 27.1%だったが、そのうち第8回調査時に「正規の職員・従業員」か「労働者派遣事業所の派遣社員、契約社員・嘱託」だった者がそれぞれ 27.7% と 30.5% となっている。また、女では、第1回調査時に「雇われて働く(パートタイム)」を希望している者が 29.7%と最も多かったが、そのうち第8回調査時に「パート・アルバイト」だった者が 46.3%となっている。(表6)

表6 「60～64歳」の者の第1回調査の「60～64歳の就業希望」別にみた
第8回調査の仕事の有無・仕事のかたち

		第8回の仕事の有無・仕事のかたち									
		総数	仕事をしている	仕事のかたち						仕事をしていない	
				自営業主、 家族従業員	会社・ 団体等の 役員	正規の 職員・ 従業員	パート・ アルバイト	労働者派遣事 業所の派遣社 員、契約社員・ 嘱託	家庭での 内職など、 その他		
第1回 の 60 ～ 64 歳 の 就 業 希 望 の 有 無 ・ 希 望 す る 仕 事 の か た ち (複 数 回 答)	60～64歳 男										
	総数	(100.0)	100.0	75.8	20.0	6.5	16.3	10.2	20.1	2.6	24.0
	仕事をしたい	(83.1)	100.0	81.2	22.4	6.8	17.4	10.6	21.1	2.7	18.7
	自営業主、家業の手伝い	(24.6)	100.0	90.8	64.8	7.2	4.9	4.7	6.5	2.6	9.0
	雇われて働く (フルタイム)	(27.1)	100.0	82.3	3.0	5.9	27.7	13.0	30.5	2.1	17.7
	雇われて働く (パートタイム)	(12.3)	100.0	70.9	4.3	3.6	16.3	18.0	26.3	2.3	28.8
	近所の人や会社に頼まれて任意に行う 仕事、有償型の社会参加活動	(12.0)	100.0	75.9	8.7	7.3	16.0	12.8	27.9	3.2	23.8
	家庭での内職など、その他 のかたち	(5.9)	100.0	75.9	12.4	12.4	16.2	8.8	21.8	4.4	23.5
	まだ考えていない	(9.0)	100.0	72.9	9.2	5.8	22.2	9.7	22.4	3.5	26.9
	仕事はしたくない	(14.2)	100.0	46.4	6.8	5.4	10.0	6.9	14.9	2.1	53.5
60～64歳 女											
総数	(100.0)	100.0	50.4	12.5	1.4	5.7	23.8	4.2	2.8	49.0	
仕事をしたい	(61.5)	100.0	66.3	17.1	1.7	7.5	30.7	5.4	3.8	33.2	
自営業主、家業の手伝い	(15.0)	100.0	80.4	61.0	3.2	2.4	9.4	1.6	2.7	19.3	
雇われて働く (フルタイム)	(5.6)	100.0	80.3	3.0	2.2	30.2	27.0	15.1	3.0	19.4	
雇われて働く (パートタイム)	(29.7)	100.0	62.8	2.2	0.4	6.4	46.3	5.3	2.2	36.6	
近所の人や会社に頼まれて任意に行う 仕事、有償型の社会参加活動	(8.3)	100.0	55.1	6.4	1.1	6.5	27.1	6.9	7.1	44.4	
家庭での内職など、その他 のかたち	(6.5)	100.0	54.2	8.9	2.8	2.6	21.7	4.2	14.0	45.6	
まだ考えていない	(4.4)	100.0	51.4	7.9	2.8	9.0	23.1	5.5	2.8	46.6	
仕事はしたくない	(34.7)	100.0	24.5	4.6	1.0	2.9	12.3	2.5	1.1	75.0	

注:1)「60～64歳」の者を集計。

2) 総数には第1回の60～64歳の就業希望の有無及び第8回の仕事の有無・仕事のかたちの不詳を含む。

3) ()内の数値は、「60～64歳」の男女をそれぞれ100とした割合である。

(2) 65歳以降の仕事

第1回調査時に「65歳以降仕事をしたい」と希望していた者のうち、第8回調査時に「仕事をしている」者は、男 67.5%、女 57.5%

第1回調査時(7年前)の65歳以降の就業希望と、第8回調査時に65歳以降となった者(65,66歳)の仕事の有無をみると、「65歳以降仕事をしたい」と希望していた者のうち、第8回で「仕事をしている」者の割合は、男 67.5%、女 57.5%となっている。

第1回調査時に希望していた仕事のかたちとして最も多かったのは、男では「自営業主、家業の手伝い」が20.2%だったが、そのうち第8回調査時に「自営業主、家族従業者」だった者が66.6%となっている。また、女では、第1回調査時に「雇われて働く(パートタイム)」を希望している者が13.9%と最も多かったが、そのうち第8回調査時に「パート・アルバイト」だった者が38.2%となっている。(表7)

表7 「65,66歳」の者の第1回調査の「65歳以降の就業希望」別にみた
第8回調査の仕事の有無・仕事のかたち

(単位:%)

		第8回の仕事の有無・仕事のかたち									
		総数	仕事をしている	仕事のかたち						仕事をしていない	
				自営業主、 家族従業者	会社・ 団体等の 役員	正規の 職員・ 従業員	パート・ アルバイト	労働者派遣事 業所の派遣社 員、契約社員・ 嘱託	家庭での 内職など、 その他		
第1回 の 65歳 以降 の 就 業 希 望 の 有 無 ・ 希 望 す る 仕 事 の か た ち (複 数 回 答)	65,66歳 男										
	総数	(100.0)	100.0	58.5	19.9	6.1	6.7	13.0	10.0	2.7	41.1
	仕事をしたい	(72.2)	100.0	67.5	24.8	7.1	7.8	14.0	10.8	3.0	32.4
	自営業主、家業の手伝い	(20.2)	100.0	87.0	66.6	6.7	2.8	4.6	3.5	2.8	13.0
	雇われて働く (フルタイム)	(9.6)	100.0	65.4	4.9	8.8	17.6	15.1	15.6	3.4	34.6
	雇われて働く (パートタイム)	(12.8)	100.0	55.1	2.9	3.3	9.2	22.1	14.3	2.9	44.1
	近所の人や会社に頼まれて任意に行う 仕事、有償型の社会参加活動	(10.2)	100.0	59.4	8.8	8.3	8.3	11.5	18.9	3.7	40.6
	家庭での内職など、その他 のかたち	(5.1)	100.0	68.5	11.1	22.2	10.2	12.0	9.3	3.7	31.5
	まだ考えていない	(13.2)	100.0	57.8	9.9	3.9	7.8	19.1	13.5	3.5	42.2
	仕事はしたくない	(24.5)	100.0	33.3	5.5	2.9	3.6	11.3	8.0	1.9	66.0
65,66歳 女											
総数	(100.0)	100.0	37.8	11.9	1.6	1.9	16.4	2.4	3.5	61.4	
仕事をしたい	(52.7)	100.0	57.5	19.7	2.0	3.0	24.2	3.8	4.8	41.8	
自営業主、家業の手伝い	(11.8)	100.0	79.1	62.5	4.0	1.8	6.1	0.7	4.0	20.6	
雇われて働く (フルタイム)	(1.6)	100.0	70.3	2.7	-	16.2	35.1	16.2	-	29.7	
雇われて働く (パートタイム)	(13.9)	100.0	53.2	1.5	0.6	4.3	38.2	5.2	3.4	45.3	
近所の人や会社に頼まれて任意に行う 仕事、有償型の社会参加活動	(6.2)	100.0	48.6	4.8	2.1	5.5	19.9	8.9	7.5	51.4	
家庭での内職など、その他 のかたち	(6.7)	100.0	50.0	8.9	1.9	2.5	20.3	3.2	13.3	50.0	
まだ考えていない	(9.3)	100.0	49.5	8.7	3.7	2.8	26.6	4.6	3.2	50.5	
仕事はしたくない	(43.1)	100.0	15.7	3.0	1.3	0.8	7.6	1.0	2.1	83.4	

注:1) 「65,66歳」の者を集計。

2) 総数には第1回の65歳以降の就業希望の有無及び第8回の仕事の有無・仕事のかたちの不詳を含む。

3) ()内の数値は、「65,66歳」の男女をそれぞれ100とした割合である。

(3) 仕事のための免許・資格取得の有無

第1回調査時(7年前)に「60～64歳は仕事をしたい」と希望していた60～64歳の者のうち、第8回調査で「仕事をしている」割合は、免許・資格を「取得したことがある」で男82.9%、女69.9%

第1回調査時(7年前)に「60～64歳は仕事をしたい」と希望していた、現在60～64歳の者について、調査開始前から第5回調査までの仕事のために取得した免許・資格の有無別に「仕事をしている」割合をみると、免許・資格を「取得したことがある」男は82.9%、女は69.9%と、「取得したことがない」者より多くなっている(表8)。

また、「65歳以降仕事をしたい」と希望していた、現在65,66歳の者について、取得した免許・資格の有無別に「仕事をしている」割合をみると、免許・資格を「取得したことがある」男は69.6%、女は61.9%と、「取得したことがない」者より多くなっている(表9)。

表8 第1回調査で「60～64歳は仕事をしたい」と希望していた60～64歳の者の調査開始前から第5回までの免許・資格の取得の有無別にみた第8回調査の仕事の有無

(単位:%)

		第8回の仕事の有無			
		総数	仕事をしている	仕事をしていない	
資格第5回取得での有無	60～64歳				
	男 総数	(100.0)	100.0	81.2	18.7
	取得したことがある	(63.5)	100.0	82.9	17.0
	取得したことがない	(32.2)	100.0	77.7	22.0
	女 総数	(100.0)	100.0	66.3	33.2
	取得したことがある	(39.1)	100.0	69.9	29.9
	取得したことがない	(52.7)	100.0	64.5	34.9

注:1)「60～64歳」の者を集計。

2) 総数には第8回の仕事の有無及び第5回までの免許・資格の取得の有無の不詳を含む。

表9 第1回調査で「65歳以降仕事をしたい」と希望していた65,66歳の者の調査開始前から第5回までの免許・資格の取得の有無別にみた第8回調査の仕事の有無

(単位:%)

		第8回の仕事の有無			
		総数	仕事をしている	仕事をしていない	
資格第5回取得での有無	65,66歳				
	男 総数	(100.0)	100.0	67.5	32.4
	取得したことがある	(62.5)	100.0	69.6	30.1
	取得したことがない	(31.9)	100.0	63.7	36.3
	女 総数	(100.0)	100.0	57.5	41.8
	取得したことがある	(38.3)	100.0	61.9	37.6
	取得したことがない	(51.0)	100.0	55.7	43.7

注:1)「65,66歳」の者を集計。

2) 総数には第8回の仕事の有無及び第5回までの免許・資格の取得の有無の不詳を含む。

参 考

各図表の集計客体数は、以下のとおり。

図表番号	集計対象	客体数		
		総数	男	女
図1、表1、図2、図3、 表2、表3、表6、表7	第1回から第8回まで回答した者	22 288	10 354	11 934
	57～59歳	5 467	2 504	2 963
	60～64歳	12 341	5 717	6 624
	65,66歳	4 480	2 133	2 347
表4	第1回から第8回までに仕事をやめた経験がある者	10 031	4 843	5 188
表5	最後にやめた仕事の離職理由が「定年のため」であり第8回で仕事をしている者	1 192	927	265
表8	第1回調査で「60～64歳は仕事をしたい」と希望していた60～64歳	8 823	4 750	4 073
表9	第1回調査で「65歳以降仕事をしたい」と希望していた65,66歳	2 775	1 539	1 236

用語の定義

「調査年」

「第1回」～「第8回」とは、それぞれの回の調査で把握した項目で、各調査年は次のとおり。

- 第1回(第1回調査) 平成17年
- 第2回(第2回調査) 平成18年
- 第3回(第3回調査) 平成19年
- 第4回(第4回調査) 平成20年
- 第5回(第5回調査) 平成21年
- 第6回(第6回調査) 平成22年
- 第7回(第7回調査) 平成23年
- 第8回(第8回調査) 平成24年

世帯構成

同居している者の続柄から分類している。「単独世帯」「夫婦のみの世帯」以外は、兄弟姉妹やその他の親族がいる場合を含む。親には配偶者の親も含む。

「単独世帯」

配偶者の有無を問わず、本人以外に同居者がいない場合をいう。

「夫婦のみの世帯」

本人と配偶者以外に同居者がいない場合をいう。

「三世代世帯」

本人が親・子と同居している、本人が子・孫と同居している、または子の有無を問わず本人が親・孫と同居している場合をいう。

「親あり子なしの世帯」

本人と親が同居していて、子がない場合をいう。

「親なし子ありの世帯」

本人と子が同居していて、親がない場合をいう。

「その他の世帯」

上記以外の場合をいう。

「配偶者」「夫婦」

事実上夫婦として生活しているが、婚姻届を提出していない者も含む。

介護をしている状況

「介護をしている」

同居している者や同居していない親族に対して介護をしている場合をいう。

「介護をしていない」

同居している者や同居していない親族に対して介護をしていない場合をいう。

「介護をした経験がある」

第1回から第8回までに、1回でも「介護をしている」と回答している場合をいう。

「第1回から介護をしている」

第1回から第8回まで、調査時に介護を「している」と回答した場合をいう。

「介護を「していない」から「している」に変化」

第1回に介護を「していない」者のうち、第8回までに介護を「している」となった場合をいう。介護を「している」となった後、再度介護を「していない」と回答した場合は、介護をしている状況の変化「その他」としている。

「介護を「している」から「していない」に変化」

第1回に介護を「している」者のうち、第8回までに介護を「していない」となった場合をいう。介護を「していない」となった後、再度介護を「している」と回答した場合は、介護をしている状況の変化「その他」としている。

「第1回から介護をしていない」

第1回から第8回まで、調査時に介護を「していない」と回答した場合をいう。

就業状況

「仕事をしている」

ふだん収入になる仕事をしている場合をいう。

「仕事をしていない」

パート・アルバイト、内職等も全くしていない場合をいう。

就業状況の変化

「第1回から仕事あり」

第1回から第8回まで、調査時に「仕事をしている」と回答した場合をいう。仕事をやめた後、別の仕事に就いている場合を含む。

「就業」

第1回に「仕事をしていない」者のうち、第8回までに「仕事をしている」となった場合をいう。「仕事をしている」となった後、再度「仕事をしていない」と回答した場合は、就業状況の変化「その他」としている。

「退職」

第1回に「仕事をしている」者のうち、第8回までに「仕事をしていない」となった場合をいう。「仕事をしていない」となった後、再度「仕事をしている」と回答した場合は、就業状況の変化「その他」としている。

「第1回から仕事なし」

第1回から第8回まで、調査時に「仕事をしていない」と回答した場合をいう。前回の調査から次の調査までの間に仕事に就いて、調査日までに仕事をやめた場合を含む。

「離職」

調査年の前年11月～調査年の10月までの1年間に、収入を伴う仕事をやめた経験をいい、仕事をやめた後、現在別の仕事に就いている場合を含む。

仕事のかたち

「自営業主」

個人経営の商店主・工場主・農業主等の事業主や開業医・弁護士・著述家・行商従事者等をいう。

なお、法人組織(株式・合資・合名の各会社)になっている商店の経営者の場合は、「会社・団体等の役員」としている。

「家族従業者」

農家や個人商店等で農作業や店の仕事等を手伝っている家族をいう。

「会社・団体等の役員」

会社の社長・取締役・監査役、団体の理事(長)・監事、公団や事業団の総裁・理事等をいう。

なお、部長、課長等のいわゆる管理職の場合は、理事等の役員になっていなければ、含まれない。

「正規の職員・従業員」

会社・団体・官公庁・個人商店等に雇用期間の定めなく雇われている人をいう。

「パート・アルバイト」

就業時間や日数に関係なく、勤務先で「パートタイマー」「アルバイト」または、それらに近い呼称で呼ばれている人をいう。

「労働者派遣事業所の派遣社員」

労働者派遣法に基づく労働者派遣事業所に雇用され、そこから派遣されている人をいう。

「契約社員・嘱託」

専門的職種に従事させることを目的に契約に基づき雇用されている人や雇用期間の定めのある人、労働条件や契約期間に関係なく、勤務先で「嘱託職員」または、それに近い呼称で呼ばれている人をいう。

「家庭での内職など」

家庭で賃仕事をしている人をいう。

「その他」

仕事のかたち「自営業主」～「家庭での内職など」以外をいう。

「60～64歳の就業希望の有無・希望する仕事のかたち」

第1回に、60歳以降いつまで収入を伴う仕事をしたいかについて、「可能な限り仕事をしたい」、「一定の年齢まで仕事をしたい」と回答した者が、「60～64歳」の年齢区分で希望している仕事のかたちであり、複数回答による。

「65歳以降の就業希望の有無・希望する仕事のかたち」

第1回に、60歳以降いつまで収入を伴う仕事をしたいかについて、「可能な限り仕事をしたい」、「一定の年齢まで仕事をしたい」と回答した者が、「65歳以降」の年齢区分で希望している仕事のかたちであり、複数回答による。

「免許・資格の取得の有無」

調査開始前から第5回調査時までに、仕事のために免許・資格(医療専門職、社会福祉専門職等の医療・保健衛生・社会福祉関係、幼稚園・学校教諭免許、専門的事務処理技能等の事務処理関係、車両運転船舶運転免許などの運輸・通信関係など)を取得したことの有無をいう。